

次世代育成支援行動計画 H22年度推進委員会 資料

平成23年3月29日(火)

13:00~15:00

松戸市 議会棟 第2会議室



H22年度に大きな制度改革があったもの

- 子ども手当

平成22年4月より、中学生修了までの子ども1人につき一律月額1万3千円を支給している。

- 子ども医療費助成制度

平成22年12月より対象を小学校就学前から小学校6年生までに拡大し、「乳幼児医療費助成」から「子ども医療費助成」に名称を変更した。

- 魅力ある子育てタウン創造プロジェクト

松戸で子どもを産み・育てたくなる、魅力ある子育て環境をつくるため「子ども子育て新システム」への対応を行いながら新たな子育て応援施策を創造するプロジェクトを平成22年11月より開始した。

平成22年度の事業実施状況 (国指針基本事業)

事業項目		26年度 目標事業量	21年度 実績	22年度 実績	
通常保育事業(認可保育所)	入所児童数	4,936人	5,351人	5,261人	3/1現在
	箇所数	47カ所	47カ所	47カ所	
特定保育事業	定員	83人	36人	66人	
	箇所数	10カ所	6カ所	11カ所	
延長保育事業	利用児童数	1,194人	1,162人	2,844人	12月末現在
	箇所数	37カ所	36カ所	37カ所	
トワイライトステイ	人数	25人	25人	41人	2月末現在
	箇所数	1カ所	1カ所	1カ所	
休日保育事業	定員	50人	0人	0人	
	箇所数	5カ所	0カ所	0カ所	
病後児保育事業	人数	942人	288人	295人	2月末現在
	箇所数	2カ所	2カ所	2カ所	

平成22年度の事業実施状況 (国指針基本事業)

事業項目		26年度 目標事業量	21年度 実績	22年度 実績
一時預かり事業（保育所型）	定員	40人	24人	44人
	箇所数	10カ所	7カ所	11カ所
一時預かり事業	人数	11,194人	2,624人	2,257人
	箇所数	5カ所	2カ所	2カ所
ショートステイ事業	箇所数	1カ所	1カ所	1カ所
放課後児童健全育成事業	人数	2,105人	2,037人	2,353人
	箇所数	44カ所	44カ所	44カ所
放課後こども教室	箇所数	3カ所	3カ所	3カ所
地域子育て支援拠点事業	箇所数	18カ所	16カ所	18カ所
ファミリー・サポート・センター事業	箇所数	1カ所	1カ所	1カ所

2月末現在

H22.4.1現在

平成22年度の事業実施状況 (新規・拡大事業)

	事業名称	担当課	事業概要	目標年度	平成22年度の実施状況	平成23年度以降の取組
1	子育てホームページ事業	子育て支援課	市では、ホームページによる子育てに関する情報発信の一元化を図っています。このホームページをより一層充実するとともに、インターネットを活用して個人個人が必要な情報の提供や知りたい情報が的確に取得できるシステムを構築します。	H22	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て情報サイト「まつどあ」を平成22年10月1日よりリニューアルし、子どもの年齢や、居住地域によって個別の情報が見られるマイページ機能を付加しました。 ・関係各課がスムーズに情報発信を行えるようにし、掲載情報の充実を図りました。 ・子育て支援に関して頻繁に寄せられる質問をFAQにまとめて掲載しました。 	今後も掲載情報の充実を図り、NPOとの連携により子育て中の市民目線での情報提供を行います。
2	子ども読書推進センター	図書館	幼児・児童読書普及事業の推進を図るため、「子ども読書推進センター」を設置し、児童読書活動を行うボランティア等に対する支援を充実します。	H22	ボランティアに対する支援として、研修会や講座を行いました。	平成22年度同様、ボランティアの研修会や講座の開催を行い、4事業の回数も増やします。また、子育て中の保護者への啓発活動とあわせて講座の開催を新規に行い、更なるボランティア活動への支援を充実させていきます。
3	乳幼児一時預かり事業の拡充	子育て支援課	子育て中の保護者の負担感の軽減やリフレッシュを目的として、理由を問わず、未就学児を4時間まで預かる乳幼児一時預かり事業を拡大します。	H22	<ul style="list-style-type: none"> ・E-こどもの森・ほっとる一む東松戸施設を拡張しました。 ・一時預かり事業実施施設の拡充についての検討を行いました。 	引き続き一時預かり事業の拡充についての検討を行います。

平成22年度の事業実施状況 (新規・拡大事業)

	事業名称	担当課	事業概要	目標年度	平成22年度の実施状況	平成23年度以降の取組
4	ファミリー・サポート・センター事業の充実	子育て支援課	ファミリー・サポート・センター事業は、利用会員に対し、提供会員が不足がちです。出産直後の支援制度と育児支援制度の機能の充実や対象年齢拡大などのより利用しやすい仕組みを構築します。	H22	<ul style="list-style-type: none"> ・「出産直後の支援」の対象を産後3か月までに拡大し、ファミリーサポートセンターで行う「育児支援」の利用にスムーズに移行できる仕組みに変更しました。 ・「育児支援」の複数預かりの実施やひとり親家庭への支援等、機能を拡充しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度に提供会員の会費を無料化し、提供会員が登録しやすい制度に変更し、会員の不足を解消します。
5	授乳・おむつ替えスペース(赤ちゃんぼけつ)の提供事業	子育て支援課	乳幼児を連れた保護者の方が、安心して出かけることができるように、市内の施設で授乳とおむつ替えができるスペースを提供しています。市内の公共施設や商業施設などの提供する施設を拡充します。	H22	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度は59施設で実施。 ・市内の商業施設より実施施設を募集し、授乳スペースとおむつ替えスペースを併せて提供する商業施設は4施設になりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「赤ちゃんぼけつ」を実施する施設の拡充を図り、乳幼児を連れた保護者が、安心して出かけるような街づくりに努めます。
6	父親のための情報提供	女性センター	父親になる人が、親として子どもを育てる力を育むことへの支援として父子手帳を作成し、発行します。また、子育て支援事業の情報誌やパンフレットにも父親の育児支援を含め、子育ての知識や心構えなどの情報を提供します。	H22	<ul style="list-style-type: none"> ・協働事業でNPO法人子育て支援ぼこらが父親のための育児手帳「パパ手帳」を作成し、子育てフェスティバルで配布しました。 ・「パパ手帳」とおとして、父親と母親がお互いに思いやり、尊重しながら育児・家事・仕事を行う一歩となるよう、父親が効率よく育児にかかわることができるような情報やきっかけを提供しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 市役所、各支所、保健センター、地域子育て支援センター、おやこDE広場、イクメン講座などで広く子育て中の市民に「パパ手帳」を配布します。

平成22年度の事業実施状況 (新規・拡大事業)

	事業名称	担当課	事業概要	目標年度	平成22年度の実施状況	平成23年度以降の取組
7	ひとり親家庭支援コーディネート事業	子育て支援課	ひとり親家庭に対する様々な支援制度等に総合的に対応するため、ひとり親の家庭に対する支援のコーディネートをする仕組みを構築します。	H22	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭児童相談室でひとり親家庭の相談を受け付け、必要な支援を受けられるようにしました。 ・児童扶養手当現況届けの受付の際に、就労支援相談も同時に実施し、就職活動や仕事についてのアドバイスをを行いました。 ・母子家庭の人を対象に、就労に関する情報を提供するイベントを実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もひとり親の家庭がスムーズに必要な支援を受けられるような仕組みづくりに努めます。
8	保育事業の充実	保育課	<p>保育需要に応じ、認可保育所を整備していくと共に、多様な就労形態に適應できるように一時預かり・特定保育の充実はもとより、延長保育や休日保育についても検討を進めていきます。また、耐震化対応など施設の老朽化対策を推進します。</p> <p>公立保育所の民営化については業務委託中の保育所の移管を進めると共に、社会環境の変化に対応してまいります。</p>	H22	<ul style="list-style-type: none"> ・一時預かり・特定保育実施保育所を7ヶ所から8ヶ所に増やしました。 ・耐震性の低い松戸市立パンダ保育所を平成22年度末で廃止します。 ・社会福祉法人に運営を業務委託している松戸市立貝の花保育所を平成22年度末をもって廃止し、同法人に移管します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育需要が増えている地域に認可保育所を整備します。 ・一時預かり・特定保育実施保育所を増やします。 ・全公立保育所の開所時間を7時から19時にします。 ・社会福祉法人に運営を業務委託している公立保育所を移管します。 ・耐震強度の低い保育所の耐震化整備を行います。
9	放課後児童クラブ事業の充実	子育て支援課	<p>放課後児童クラブは、利用する児童の自立性や創造性などを養うことを目的とする事業として、質の向上を推進します。そのために、専門家等による事業評価に基づき、運営法人と連携してクラブ事業の質の向上を推進してまいります。</p> <p>また、老朽化した施設や小学校から遠距離にある施設の改修等の対策を推進します。</p>	H22	<ul style="list-style-type: none"> ・評価実施のための検討を行いました。 ・新松戸南放課後児童クラブを学校外より学校施設内に移設しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代育成支援行動計画 評価委員会で放課後児童クラブについての評価を行います。 ・施設設備については3か所を予定しています。

平成22年度の事業実施状況 (新規・拡大事業)

	事業名称	担当課	事業概要	目標年度	平成22年度の実施状況	平成23年度以降の取組
10	児童家庭支援センターとの連携	子育て支援課	子育てに不安を感じている保護者への助言、指導、調整および、一時的な保護をする児童家庭支援センター(児童養護施設晴香園)と千葉県柏児童相談所と松戸市子育て支援課家庭児童相談室との連携を図ります。	H22	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年9月に児童家庭支援センター「オリーブ」が開設され、子育て相談や、心についての相談を受付けています。 子育て支援施設等で施設の周知を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き連携を図っていきます。
11	地域放課後児童支援事業の実施	子育て支援課	小学生が地域で安全で安心して健やかに育まれるように、学習やスポーツ、文化活動等のさまざまな事業を行い、子どもから広がる地域の子育て力を育成します。	H22	<ul style="list-style-type: none"> 和名ヶ谷小学校、上本郷第二小学校、六実第二小学校の3校で「放課後KIDSルーム」を開設しました。 週に2日放課後の図書室等を開放し、学習支援や読書支援などを行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規に1か所開所することを予定しています。 学生ボランティアや地域ボランティアを活用し、児童と地域の人との交流の場を提供し、子育て支援活動の促進を図ります。
12	子育て応援大作戦～まつどりーむ事業	IT推進課 子育て支援課 観光課 市民課	<p>子育てをすることが楽しく幸せに感じることができるように、市内商業施設・地域の方々等と連携し、ホームページでの情報提供を行いながら、子ども達を暖かく見守り、子育てを応援する取組を構築します。</p> <p>※主な活動内容 子育てみらいカード導入による企業のサービスと、既に実施されている「赤ちゃんぼけつと」「こども110番」事業などを一体化した、応援ネットワークを構築します。</p>	H22	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年10月より、協賛店に提示するとサービスを受けることができる子育てみらいカードの発行を開始しました。 協賛店の募集と同時に、「子育てにやさしいサービス」を行う商業施設も募集。授乳・おむつ替えスペースの提供や、ミルク用のお湯の提供を行う施設が増えました。 子育てみらいカードや協賛店についてのレポートを、子育て情報サイト「まつどあ」に掲載。市民目線での情報を提供することができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きカードの利用者及び協賛店を拡大し、事業を充実していきます。 子育て情報サイト「まつどあ」をより充実していきます。

平成22年度の事業実施状況 (新規・拡大事業)

事業名称	担当課	事業概要	目標年度	平成22年度の実施状況	平成23年度以降の取組
13 地域子育て拠点の充実と子育てコーディネーター事業の推進	子育て支援課	地域子育て支援センターとおやこDE広場は、乳幼児とその保護者のための施設として、様々な情報の発信や子育てコーディネーターの配置など子育て支援の拠点として位置付けます。子育て中の保護者が楽しく子育てし続ける事ができるように、おやこDE広場、地域子育て支援センターをはじめ、公園、施設など子どもを連れて遊びに行くことができる場所を充実するとともに、乳幼児を対象としたイベントや子育てサークルの支援なども充実します。	H22	<ul style="list-style-type: none"> ・おやこDE広場を新たに3か所開設しました。 ・E-こどもの森・ほっとる一む東松戸の拡充を行いました。 ・おやこDE広場を運営している法人で作っているネットワークにより各施設の代表者たちが情報交換するとともに、研修会開催などによるスキルアップを図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の代表者を子育てコーディネーターとして位置づけるための研修を行います。 ・保健福祉課との連携により「赤ちゃん教室」をスタートします。 ・新規施設を1か所開設する予定です。
14 子育てスタッフ養成講座	子育て支援課	子育て支援スタッフ養成のための講座を実施し、講座修了生や保育士、幼稚園教諭等すでに資格を持っている人をネットワークに登録し、市内子育て支援事業の様々な場で活躍できるような人材バンクを創設します。	H22	<ul style="list-style-type: none"> ・聖徳大学に委託して子育て支援スタッフ養成講座を実施し、30名が受講しました。(30名修了予定) ・修了者を登録し、就労につなげる子育て人材バンク制度を創設しました。また、ハローワークとの協力体制を整えました。 	引き続き、養成講座を実施し、子育て支援者を養成します。
15 学校支援地域連携事業	生企画管理室	学校の求めと地域の実情に応じた、学校・家庭・地域が一体となった学校支援環境の整備を推進する地域組織のあり方を研究していきます。子どもが地域の大人たちとのふれあうことや多様な経験をすることにより生きる力が育成されます。	H22	<p>地域住民や地域地域ボランティアと学校が連携し、各地域の実情に応じた活動を支援することにより、地域の教育力の向上を図っています。</p> <p>○活動地区：小金北中学校区、旭町中学校区</p> <p>○活動内容：朝の声かけ運動、読み聞かせボランティア、環境美化ボランティア、地域安全ボランティア、世代交流会、学習支援など</p>	平成23年度も引き続き、地域の実情に沿った、学校支援ボランティアの活動をサポートし、地域教育力の向上を図ります。

平成22年度の事業実施状況 (新規・拡大事業)

事業名称	担当課	事業概要	目標年度	平成22年度の実施状況	平成23年度以降の取組
16 小中学校の 学力レベルの 向上	生 企画 管理室	<p>全国学力学習状況調査における、松戸市の児童生徒の学力はほぼ全国と同じ傾向です。基礎的な問題の正答率は高く、応用的な問題の正答率が低い傾向にあります。松戸市教育委員会として引き続き基礎学力の一層の定着と応用力の向上に取り組んでいきます。</p> <p>また、学習規律や家庭学習の習慣等が学力に影響しています。学校では授業の改善や学習規律の確立の取組を行うとともに、基本的な生活習慣について家庭への協力を求めていく必要があります。教育委員会は、学校への授業力向上への取組や生徒指導体制確立への支援を図っていきます。</p>	H22	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の完全実施に向けて、各種研修会の開催や資料の配布により、指導内容の周知徹底を図ってきました ・「五年間英語」と「言語活動」を支える「言語技術」を二本柱とする「言語活用科」を立ち上げ、その研究に取り組んできました。既に市内の小中学校では英語分野の取組が始まっています。 ○家庭学習の習慣の定着等については、各学校から保護者への呼びかけや体験を重ねてきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、教員の指導力向上のための取組みを進めていきます。
17 教育的ニーズ に応じた子どもへの 支援の 充実	教育 研究所	<p>一人ひとりの自立と社会参加を目指し、教職員の専門性を向上させ、校内体制を整備していきます。さらに個別の指導計画を作成し、個に応じた指導・支援を行っていきます。巡回相談の充実とともに関係機関との連携を図りながら支援を行っていきます。</p>	H22	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の研修会や人材育成、特別支援学級の新たな開級による専門的な指導の場の拡大や、特別支援教育支援員の配置等を総合的に実施し、各学校の支援力向上、特別支援教育力の充実を図っています。 ・個別の指導計画を保護者と学校、職員間で共有し、相互利用することによって、相互の連携を図っています。 ・特別支援アドバイザーや特別支援学校コーディネーター等が要請に応じて巡回相談に当たり、専門性の高い指導を受けています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、教員が障害や効果的な対応の在り方について理解を深め、実践力のある教師の育成に取り組む、専門性の高い指導の場の拡大を図ります。 ・専門家による巡回相談や関係機関との一層の連携を図ります。

平成22年度の事業実施状況 (新規・拡大事業)

	事業名称	担当課	事業概要	目標年度	平成22年度の実施状況	平成23年度以降の取組
18	子どもフォーラム事業	子育て支援課	子どもが自分らしい夢を持ち、それに向かって努力することができるようになるために、将来の自分について具体的に考え、意見交換し、発表する機会を作ります。	H22	<ul style="list-style-type: none"> 中学生を対象に、「まつど・子どもフォーラム」を開催し、20名が参加しました。 ワークショップ形式でこれまでの自分の振り返りや将来の自分、松戸の街について話し合う機会を提供しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度も子どもフォーラムを実施し、自分の未来と松戸の未来について真剣に話し合う機会を提供します。 子どもフォーラムで出た意見を市政に反映できるような仕組みづくりを行います。
19	児童生徒ふれあい事業	指導課	<p>平成21年度に実施した子どもフォーラムからの意見です。子ども達から、「松戸市内のいろいろな地域の子どもたちと友達になり、より多くの体験や経験をすることで自分の夢を見つけていきたい」との意見が出されました。</p> <p>松戸市教育委員会の取り組んでいるスポーツ・文化・芸術活動などの機会を通して市内他校の児童生徒が切磋琢磨するとともに、認め合い、励まし合うことのできるふれあい活動を推進していきます。</p>	H22	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の教員が小学校への出前授業を行ったり、小学生が中学校の部活動に体験入部したり、中学校区での音楽会を開催したりする取組が進められています。その中で、小学校間や小中学校の交流が図られています。 小学校球技大会、小中学校体育大会、小中学校音楽会、受賞記念音楽会、書写作品展、理科作品展、造形展、特別支援学校発表会等、様々な大会や展覧会を開催し、市内小中学生の競技や発表の場を設け、児童生徒が自分の特技や努力の成果が発揮できるようにしています。 小中学校では部活動への取組が盛んです。スポーツでは陸上を始めとして成果をあげています。音楽では全国レベルの学校が多いです。これらの部活動に参加している児童生徒は、各地で開催される大会やコンクール等で、県内のみならず全国各地の児童生徒と競う中で、技術の向上だけではなく、認め合う、励まし合う等のふれあい活動が行われています。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き次の取り組みを行います。 各種大会や展覧会を開催します。 各学校に対して、大会参加等についての支援を行います。

平成22年度の事業実施状況 (新規・拡大事業)

	事業名称	担当課	事業概要	目標年度	平成22年度の実施状況	平成23年度以降の取組
20	(仮称)文化伝統芸術ふれあい事業	生 企画管理室	子ども達が歴史・文化・伝統にふれる機会を増やし、ふるさと松戸を愛する心を育みます。市内にある様々な文化施設に、子ども達が訪れやすいようにします。	H22	<p>①小中学生等に対する社会教育施設等使用料の無料化の準備計画。 (市民会館プラネタリウム、文化ホール観覧料、戸定歴史館入館料、博物館観覧料、教育委員会所管プール3施設)</p> <p>②文化庁「伝統文化こども教室事業」の市内事業実施団体への支援。</p> <p>③松戸市文化振興財団との共催自主事業による鑑賞教室を通じて、児童生徒に優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供します。</p>	<p>①無料化の実施(予定)</p> <p>②同事業に対する支援(予定)</p> <p>③事業継続(予定)</p>
21	障害のある子どもに対する地域支援の充実	障害福祉課・こども発達センター 保健福祉課・子育て支援課 保育課・教育研究所	<p>誕生から学齢期 までの障害のある子どもへの支援を継続し、より充実させていくためには各課の連携を基本とした、仕組みとしての障害児の地域支援システムを確立していくことが重要です。</p> <p>システムづくりには障害児に関わるすべての関係機関による実務者会議等を持ち、障害児支援を進めていく上での問題点を共有し、しっかりと連携した支援により安心してサポートが受けられることが望まれます。</p> <p>障害福祉計画の中で、障害のある子どものための支援について、障害福祉課、子ども発達センター、保健福祉課、子育て支援課、保育課、教育委員会教育研究所等の関係部署の連携体制を構築し、学校、保育所、幼稚園、障害児施設、放課後児童クラブ等の地域の支援の充実を図ります。</p>	H22	<p>・新たに設置された「魅力ある子育てタウン創造プロジェクト」において、関係課による検討チームを発足させました。今後具体的な連携の仕組みを検討し、構築していきます。</p>	<p>「魅力ある子育てタウン創造プロジェクト」において、連携の仕組みを構築し、具体的に実施していきます。</p>

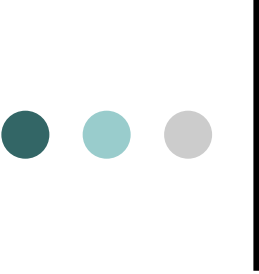
平成22年度の事業実施状況 (新規・拡大事業)

	事業名称	担当課	事業概要	目標年度	平成22年度の実施状況	平成23年度以降の取組
22	(仮称)若者塾の実施	子育て支援課	地域社会で活躍するさまざまな職業や経歴の大人たちと触れ合い、生き方や働き方の多様性に気づくことにより子どもが自らの可能性を信じて成長することを支援できるようにします。	H23	・多くの中高生が様々な職業や経歴の大人と対等に話しが出来る交流の場の実施について、企画案の作成を行いました。	・協働事業として平成23年度より実施する予定です。

まつど・こどもフォーラム

- 20名の参加中学生を対象に、ワークショップ形式でこれまでの自分の振り返りや「未来の自分」「未来の松戸の街」について話し合う機会を提供しました。





こどもフォーラムで提案された 「未来の松戸」(抜粋)

- 清潔感があり、自然が残る景色の良い街になってほしい
- 子どもだけで借りられる場所(スタジオ・部屋など)がほしい
- 他の学校の子たちとの交流の場があるといい
- こどもと大人の交流の機会がほしい
- 子どもの未来について一緒に考えられる大人が側にいてほしい
- 補習授業時間が放課後にあるといい
- 走る時に危ないので、地面がでこぼこしているところを整備してほしい
- 図書館を充実させてほしい
- ランニングや球技が安全にできる明るい公園がほしい
- お祭りや花火大会などのイベントがこの先も続いてほしい
- 他の市にアピールできるような物や場所があればいいと思う